

## 2022年の抱負

- 火曜日 - 28 12 月 2021

関東塗料工業組合事務局 2022 年の抱負を、虎尽くしで書いてみました。年末の座興と楽しんでいただければ幸いです。

### 2022年の抱負

来年こそはまさに**騎虎の勢い**で経済復興が進展することを願い、  
組合活動の**虎に翼**のごとき前進を**虎視眈々**と図ります。  
**虎を描きて狗（いぬ）に類**することがなきようこれまでの知見（**虎の巻**）を活かし、  
**虎の尾を踏む**リスクを慎重に避け、誤っても**虎を野に放たず**、  
逆境においても**虎になり**て自暴自棄とならず、**張り子の虎**と侮られぬよう留意し、  
**虎の威を借る狐**と評されようとこれを平然と甘受し、  
**虎は死して皮を留め人は死して名を残す**の教えを胸に業務に励む所存です。

- 騎虎（きこ）の勢い 物事に勢いがついて途中で止めにくいこと。また、止めてしまうとむしろ害を受けること。
- 虎に翼 もともと強いもの、勢いのあるものに、さらに強いもの、勢いのあるものが加わることのとえ。
- 虎視眈眈（こしたんたん）相手に隙があればつけ入ってやろうとじっと様子をうかがい、機会をねらっていること。「虎視」は虎が獲物を狙う鋭い目つき。「眈眈」はじっと見下ろすこと。
- 虎を描きて狗（いぬ）に類す 見事な虎を描こうとしてくだらない犬の絵になってしまうことから、凡人が優れた人のまねをして軽薄になってしまうこと、立派すぎるものや大き過ぎるものを求めたがために失敗してしまうことのとえ。
- 虎の巻 芸事などの秘伝をしるした書や、講義などに用いる種本のこと。また、教科書の内容を簡単に解説した参考書、あんちょこ。中国の兵法の秘伝書「虎韜巻（ことうのまき）」に由来。
- 虎の尾を踏む この上もなく危険なことのとえ。本来は「危うきこと虎の尾を踏むが如し」。
- 虎を野に放つ 災いのもとになる危険なものを野放しにすることのとえ。本来は「千里の野に虎を放つ」。
- 虎になる ひどく酔っ払うこと。また、酔っぱらうと強気になること。虎は酔っぱらいの比喻。
- 張り子の虎 威勢を張って強そうに見せかける人。また、首を振る癖のある人のこと。
- 虎の威を借る狐 権力や権勢のある人の力をかさに着ている人のたとえ。
- 虎は死して皮を留め人は死して名を残す 虎が死んだあと美しい毛皮を残すように、人もまた死んだのちに立派な名を残すよう心がけよということ。

※虎の格言は右のサイトから引用させていただきました <https://allabout.co.jp/gm/gc/220774/>